

平成28年度版

「がん対策に関する施策の実施状況報告書」

【愛知県がん対策白書】

平成29年5月

愛知県

目 次

報告書の趣旨	1
1 がん対策に関する施策実施状況の概要	2
2 がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について	13
3 がん対策に関する目標の進捗状況及び各施策の実施状況（愛知県がん対策推進計画（第2期）の進捗状況）	14

報告書の趣旨

愛知県がん対策推進条例（以下、「条例」という。）は、平成 24 年 10 月、がん対策に関する県の責務等を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見の推進、がん医療の充実その他のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がん対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的として制定されました。

同条例第 16 条第 2 項では、「県は、毎年、がん対策に関する施策の実施状況に関する報告書を作成し、これを公表するものとする。」と定めており、この規定に基づき、平成 28 年度のがん対策に関する施策の実施状況をとりまとめました。

1 がん対策に関する施策実施状況の概要

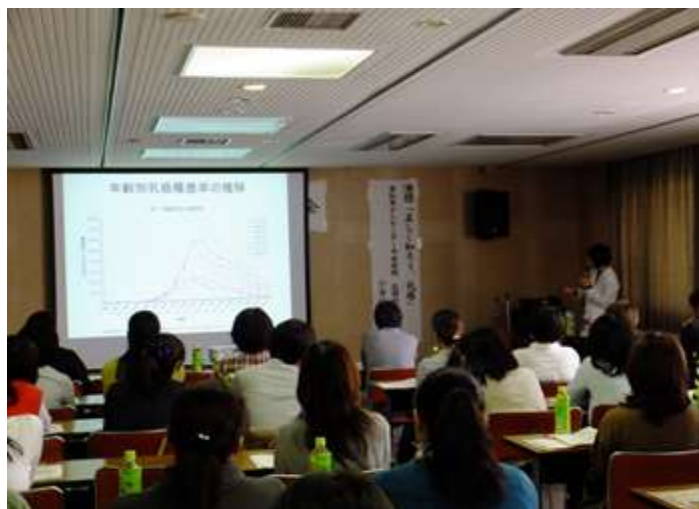
(1) 年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者やその家族の方々の視点に立ったがん対策

① 女性特有のがんに係る対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成 25 年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（P T A、大学）等と連携したセミナー等の啓発活動や、女性が検診等を受診しやすくするための医療機関に関する情報を提供しました。

ア 乳がん予防推進連携講演会の開催

連携団体	日時・参加者
海部地区小中学校 P T A 連絡協議会	平成 28 年 10 月 26 日（火）、午後 2 時～午後 4 時 参加者：55 名
丹羽地区小中学校 P T A 連絡協議会	平成 28 年 11 月 14 日（月）、午前 10 時～正午 参加者：71 名



(乳がん予防推進連携講演会)

イ 医療機関の受診等に関する情報提供

県のホームページに、土日の診療状況、女性医師の配置状況、市町村がん検診の受託状況をとりとまとめた医療機関情報を掲載しました（愛知県産婦人科医会に所属する 200 床未満の病院及び診療所で掲載を希望した 197 医療機関について、平成 28 年 8 月 10 日付けで掲載）。

② 働く世代へのがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成 25～26 年度開催）」による提言（平成 27 年 3 月）を踏まえ、働く世代のがん検診の受診率向上やがんに関しても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施しました。

ア 働く世代のがん対策講演会の開催

<第 1 回>（企業（ブラザー工業株式会社）との共催）

日 時：平成 28 年 12 月 20 日（火）午後 3 時 10 分から

場 所：ブラザー工業株式会社 瑞穂工場

内 容：がん疫学専門医及びがんサバイバーによる講演等

参加者：146 名（女性社員とその上司等）



<第 2 回>（全国健康保険協会愛知支部及び健康保険組合連合会愛知連合会との共催）

日 時：平成 29 年 3 月 2 日（木）午後 1 時 30 分から

場 所：名古屋市立大学桜山キャンパス 大ホール

内 容：がん専門医及び産業医による講演等

参加者：248 名（人事労務担当者等）

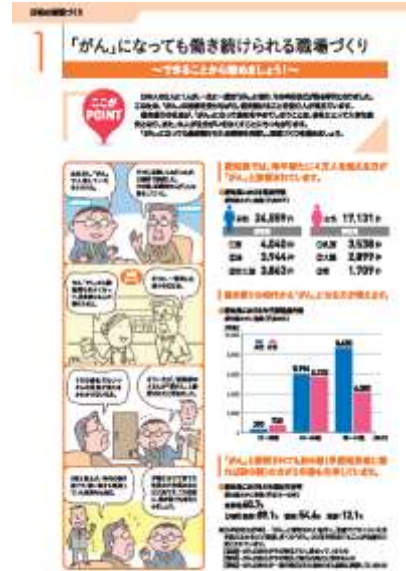


イ 「がん」患者の就労継続を支援するための「企業向けパンフレット」の作成・配布

企業における職場の環境づくりを進めるため、会社経営者や人事担当者向けのパンフレットを作成し、愛知県経営者協会の会員企業等へ配布しました。



(表面)



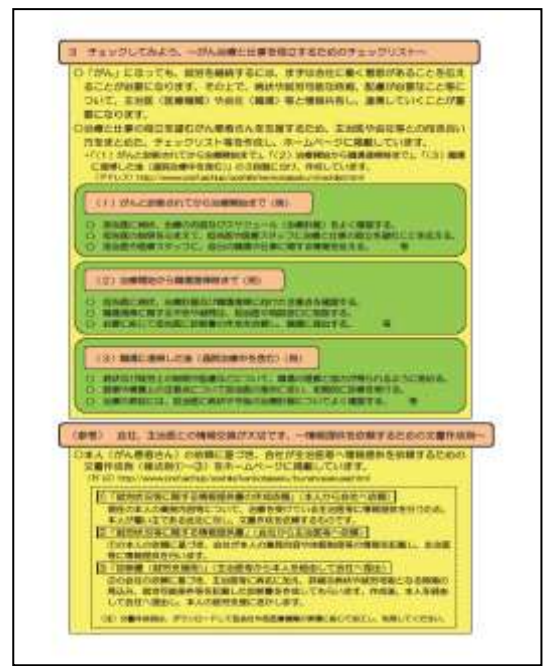
(中面)

ウ 「がん」になっても、すぐに仕事をやめず、相談を勧める「県民向けリーフレット」の作成

離職の判断は慎重にし、まずは相談することを勧めるため、県民向けのリーフレットを作成し、愛知県がん診療連携拠点病院等を通じて配布しました。



(表面)



(裏面)

③ 小児がん治療の連携体制の整備

ア 小児がんに関する診療体制等の調査

小児がん拠点病院（名古屋大学医学部附属病院）以外で小児がんの診療を一定数以上行っている病院における小児がんの診療体制や患者支援体制等を調査し、小児がん拠点病院や関係医療機関で情報共有しました。

調査対象：県内で小児がんの院内がん登録年間件数が10件以上の8病院

調査内容：小児がん医療提供体制（スタッフ配置状況、対応可能な治療）、診療実績、小児がん患者への教育支援体制、相談支援体制等

④ 小児がん患者の復学支援

ア 病気療養児の就学支援に関する研修会の開催

小児がん患者の復学支援のため、がん診療連携拠点病院の看護師等と院内学級や前籍校で病気療養児の教育に携わる教員による情報交換や事例検討を実施しました。

日 時：平成28年8月18日（木）午後1時から

場 所：ウインクあいち 1108 会議室

参加者：医療者9名

教員7名



⑤ がん患者・家族に対するピア・サポート

ア がん患者・家族に対する相談支援事業

がん患者支援活動を行っている団体に委託して、がん治療経験者による電話相談を実施しました。

委 託 先：特定非営利活動法人ミーネット

実施日数：60日、利用者数：112名

(2) 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられる
がん対策の推進

① がん医療の充実のための取組

ア がん診療連携拠点病院の整備等

国が制度化しているがん診療連携拠点病院を国へ推薦し、指定を受けて地域におけるがん医療水準の向上とがん診療の連携強化を図っています。(17 病院)

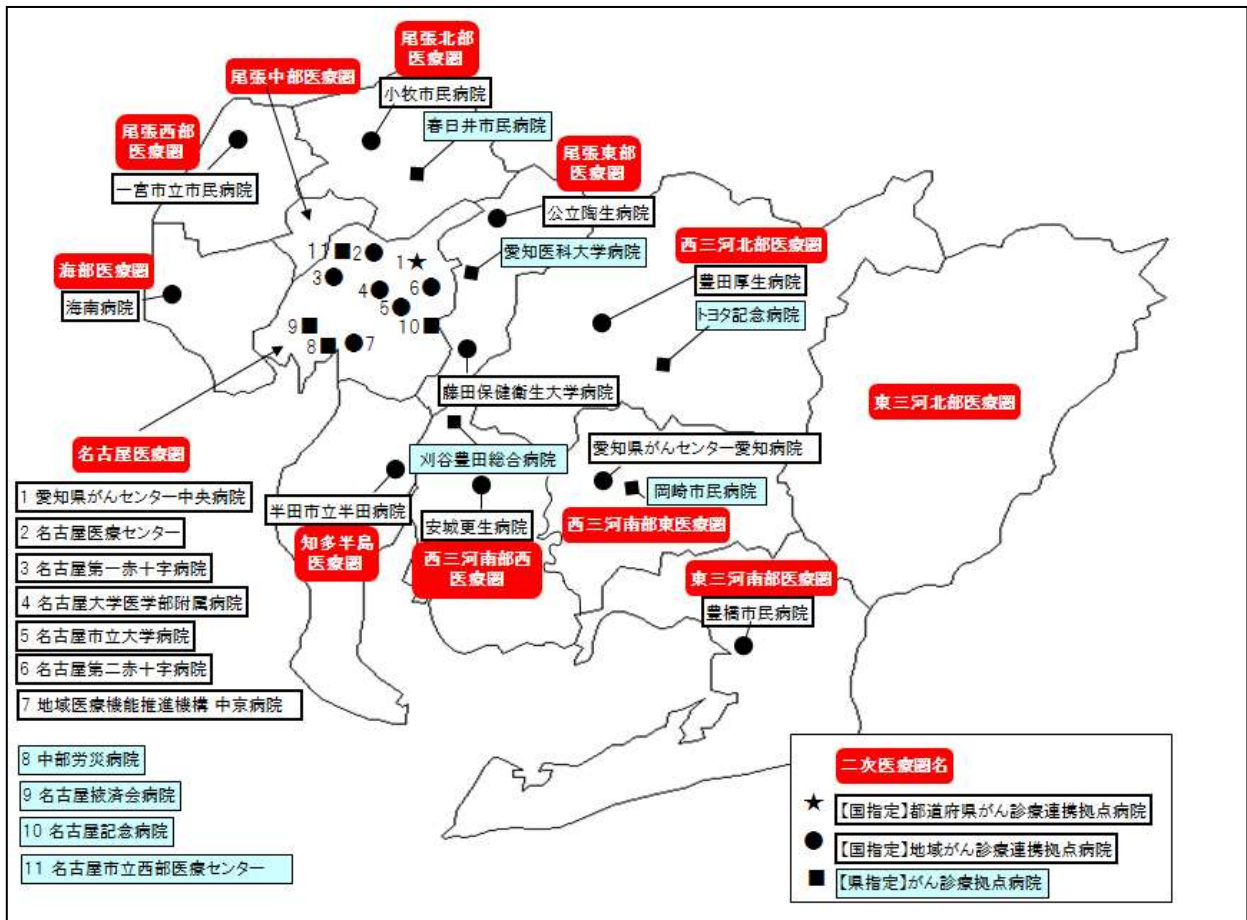
また、県独自に国指定制度に準じる要件をもって愛知県がん診療拠点病院を指定し、がん診療の体制強化を図っています。(9 病院)

拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県計画の目標の達成状況について、平成 27 年度から国指定の拠点病院を、平成 28 年度から県指定の拠点病院を含めて、ホームページに掲載しています。

【掲載した情報】

- ・ 拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明
- ・ がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、化学療法等の実績）
- ・ 愛知県がん対策推進計画(第2期)における目標数値としている診療報酬に係る施設基準（緩和ケア診療加算等）、医療従事者の配置（がん薬物療法専門医）等の達成状況

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院（平成29年4月1日現在）】



イ がん診療連携拠点病院に対する補助事業

がん診療連携拠点病院に対する補助事業を行って、がん相談支援事業や医療従事者に対する研修などの取組を促進しました。

【がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の実績】

実施病院数：28 病院（開催回数：52 回）

受講者：1,294 名

② がん患者・家族に対する情報提供

ア がん相談支援センターにおける相談状況の県 HP への掲載（平成 26 年度から）
県のホームページに、従来から掲載してきたがん相談支援センターの一覧に加えて、相談支援センターの役割を県民の皆様に一層分かりやすくお伝えするため、相談内容別の相談件数や病院別の相談件数を掲載しています。

イ がん患者支援を行う団体の県 HP への掲載（平成 25 年度から）

がん患者・家族の方々に対する支援を行う団体の情報を提供し、がん患者さんの療養生活の質の向上に資するため、「愛知県がん患者支援団体ホームページ等掲載要領」を制定し、届出のあった団体を県ホームページに掲載しています。

(3) がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防・早期発見を進める
がん対策の推進

① がん予防の啓発

たばこの健康への影響に関する知識普及について、街頭啓発や県ホームページでの各種情報の提供等により実施しました。



(啓発ポスター)



② がんの早期発見に関する取組

ア がん検診受診の啓発

検診の受診率向上のため、10月の啓発強化月間を中心に啓発ポスターの配布、街頭啓発等の啓発活動を実施しました。

イ がん検診精度管理委員会の開催

市町村がん検診の精度向上のため、がん検診の実施結果の分析及び要改善事項等を検討し、市町村に対する技術的助言を実施しました。

ウ 市町村がん検診担当者研修会の開催

市町村のがん検診担当者を対象に精度向上のための取組手法等を説明する研修会を開催しました。

日 時：平成 28 年 7 月 4 日（月）

午後 1 時 30 分から

場 所：県庁内会議室

内 容：胃がん検診・肺がん検診の精度管理のポイント、胃内視鏡検査の留意事項等

参加者：56 名



エ がん検診従事者講習会の開催

検診機関等においてがん検診に従事する者の資質向上のため、がん検診従事者講習会を開催しました。

内 容：細胞診従事者講習会始め 4 講習会

受講者：174 名

③ がん教育の充実のための取組

ア 中学生に対するがん教育出前講座の開催

中学生ががんに関する正しい知識を学び、予防のため適切な生活習慣を身につけ実践等できるよう、出前講座を実施しました。

<第 1 回>

日 時：平成 28 年 6 月 28 日（火）午後 2 時 30 分から

場 所：犬山市立東部中学校

参加者：108 名（3 年生）

<第 2 回>

日 時：平成 28 年 6 月 30 日（木）

午後 1 時 45 分から

場 所：尾張旭市立西中学校

参加者：246 名（3 年生）



<第3回>

日 時：平成 28 年 11 月 18 日（金）午後 3 時から

場 所：蟹江町立蟹江北中学校

参加者：120 名（2 年生）

<第4回>

日 時：平成 28 年 11 月 1 日（火）

午後 2 時 25 分から

場 所：豊明市立沓掛中学校

参加者：223 名（2 年生）



<第5回>

日 時：平成 28 年 11 月 22 日（火）午前 11 時 35 分から

場 所：豊明市立豊明中学校

参加者：610 名（全学年）

<第6回>

日 時：平成 28 年 12 月 15 日（木）午後 3 時 15 分から

場 所：弥富市立十四山中学校

参加者：52 名（2 年生）

イ 中学校教諭を対象としたがん教育研修会の開催

日 時：平成 28 年 8 月 22 日（月）午後 2 時から

場 所：愛知県西三河総合庁舎

内 容：保健体育教諭等が中学生にがん教育を行うことができるよう、必要な知識や教材（授業等で活用できるパワーポイント資料・リーフレット）の解説等を行いました。

参加者：92 名



ウ 中学生向け「がん教育リーフレット」の県HPへの掲載

中学校の保健体育の教科学習等において活用していただく目的で作成した「がん教育リーフレット」及び教員向けの指導参考用解説書を県のホームページへ掲載し、周知しました。

愛知の中学生向け「がん教育リーフレット」
がんについて学ぼう！

皆さんは、がんについてどんなイメージを持っていますか？また、知っていることはありますか？学習の前に自由に書いてみましょう。

1. 「がん」はどんな病気？

現在日本では、年間約38万人ががんで亡くなっており、死亡原因の第1位となっています。愛知県でも、昭和55年(1980年)以降、がんは専ら死亡原因の第1位です。日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなるといわれており、**がんは私たちにとって身近な病気**です。

【死亡の原因(全国)】
 n=7,200,000
 がん 28.8% (21,840,000人)
 その他 34.4% (24,872,000人)
 自殺 1.8% (1,317,000人)
 脳卒中 1.4% (1,028,000人)
 交通事故 1.2% (888,000人)
 心疾患 11.3% (8,288,000人)
 肺炎 6.4% (4,672,000人)
 糖尿病 2.9% (2,124,000人)
 腎臓病 1.5% (1,116,000人)
 人口総数(2016年) 75,000,000人

【愛知県の死因別死亡率の推移】
 (100,000)
 がん、心疾患、脳血管疾患、肺炎、糖尿病、自殺、交通事故

【がんができる仕組みを知ろう！】
 私たちの体は、多くの細胞からできています。細胞は毎日細胞分裂をして、新しい細胞を作っていますが、細胞の遺伝子に誤りがつき、異常な細胞ができることがあります【細胞のミスコピー】。
 がん細胞ができて、免疫細胞ががん細胞を取り除いてくれますが、免疫細胞に見逃されたがん細胞が増え続けるとがんになります。
 「がん」は、できた細胞にとどまらず、体の正常な部分や血管の中に入り込み、広がっていきます【転移】。
 細胞のミスコピーは経年の体でもおこるので、経年でもがんになる可能性があります。

図表: 遺伝子検査センター がん外来相談センター

【主ながんについて知ろう！】
 がんは、一般的には発生した細胞や組織による分類などから名称が決まります。日本人に多いがんは、下の図に示すがんです。また、右の円グラフに示すように、男女によって、かかる人が多いがんは異なります。

胃がん、乳がん、乳癌にできる、肝臓がん、子宮がん(子宮頸がん)、子宮の入り口(頸管)にできるがんと子宮本体(体腔)にできるがんがある、前立腺がん(男性特有)、食道がん、前立腺がん(男性特有)、肺癌、乳癌にできる

【男性の専ら罹患割合】
 n=26,559
 胃 18.5%、肺 18.1%、前立腺 15.7%、肝臓 12.0%、食道 11.9%、乳癌 11.8%、膵臓 7.6%、大腸 7.4%、腎臓 7.4%、胆膵 7.4%

【女性の専ら罹患割合】
 n=17,133
 乳癌 30.7%、子宮 20.7%、大腸 16.0%、肺 15.4%、膵臓 7.4%、胆膵 7.4%、肝臓 7.4%、食道 7.4%

図表: 愛知県がんセンター

【がんの原因を知ろう！】
 ①がんになりやすい年齢
 人間は老化すると、細胞のミスコピーを起こしやすくなるため、多くのがんは、40歳代から多くなり、年齢が上がるにつれて増えていきます。ただし、若い世代が全くならないわけではありません。
 ②がんになるリスクを高める原因
 がんの研究が進み、がんになるリスクを高める原因が科学的に証明されるようになっていきます。でも、**がんが発生する原因はひとつではなく、さまざまな原因が長い年月にわたって累積している**と考えられています。
 ③生活習慣
 喫煙、多量の飲酒、運動不足【大腸がん】、塩分の多量摂取【胃がん】など
 ※喫煙と多量の飲酒は、多くのがんの原因となります。
 特に、たばこの「肺がん」への影響は大きく、たばこを吸う人のがんになる確率は、吸わない人に比べ、男性で約4倍、女性で約2倍高まります。
 ④細菌・ウイルスの感染
 ヘルピロクターピロリ菌【胃がん】、ヒトパピローマウイルス【子宮頸がん】、B型肝炎ウイルス【肝臓がん】
 ⑤発がん性の物質
 放射線、アスベストなど
 ⑥遺伝性のがん
 部位によって異なりますが、全体のがんの1%～5%程度、遺伝性のがんがあることが分かっています。

(がん教育リーフレット)

(4) がんの研究等を踏まえたがん対策の推進

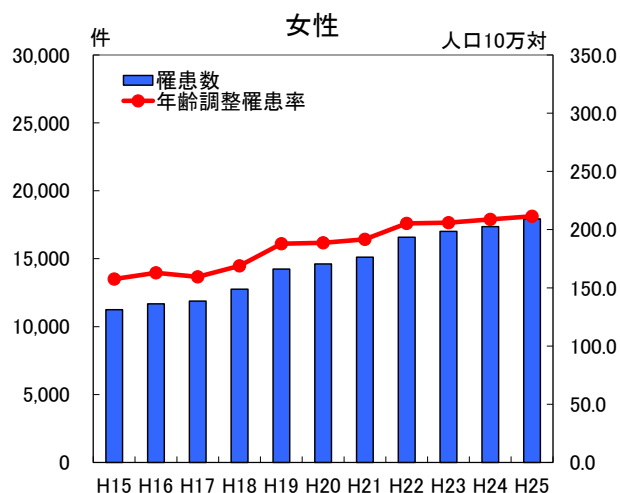
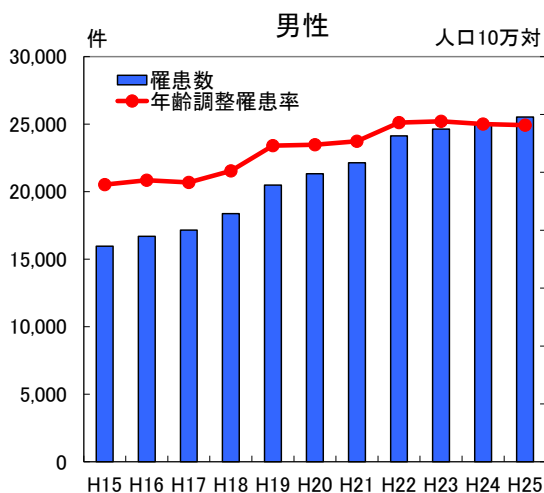
① がん罹患状況等の把握、分析

ア 地域がん登録事業

県民のがん罹患状況を把握する地域がん登録を引き続き実施し、平成25年分のがん罹患データを算出・公表しました。平成25年に愛知県在住で新たにがんと診断された数は43,444件(延べ件数:男性25,518件、女性17,926件)となりました。

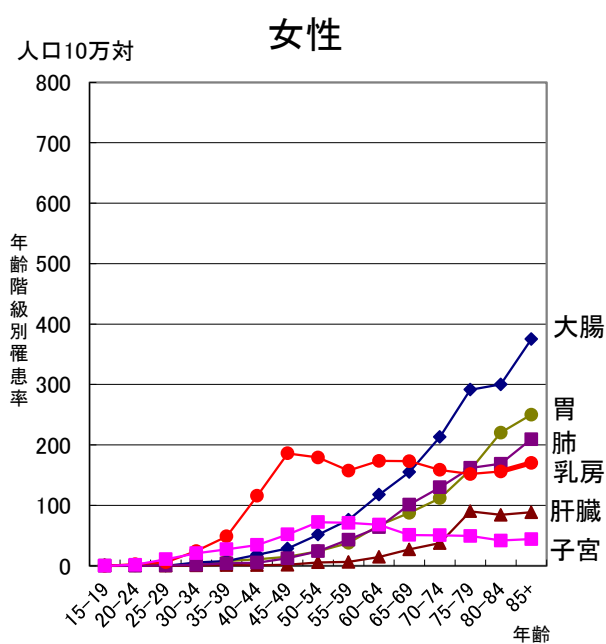
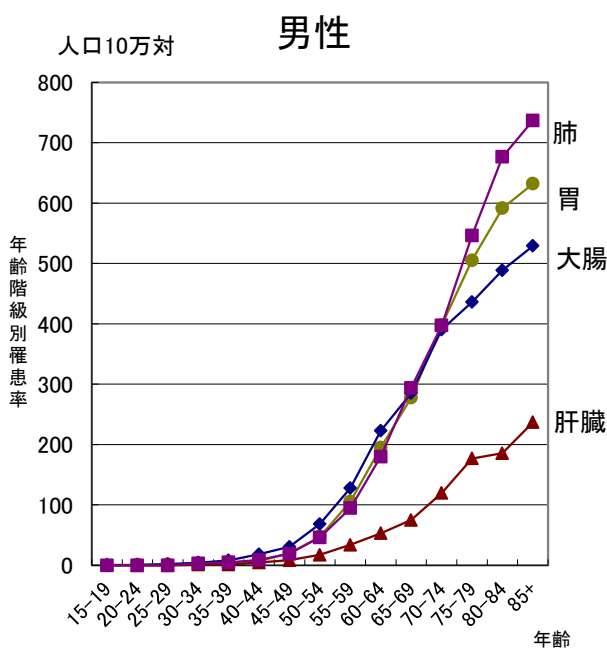
■がん罹患数・罹患率の推移（平成15年から平成25年）

がん罹患数は、引き続き増加傾向にあります。近年は増加傾向が鈍化しています。



■部位別・年齢階級別罹患率（人口10万対、平成25年罹患分）

年齢階級別に罹患率を見ると、男性では各部位とも40代後半から急激に増加していき、70代前半までは胃がん、大腸がん及び肺がんがほぼ同じような罹患率となり、70代後半からは肺がんが最も高くなっています。女性では60代までは乳がんの罹患率が最も高いですが、70歳以上では大腸がんの罹患率が最も高くなっています。



2 がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について

本県では、関係団体並びに有識者等によって構成される「愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会」を開催し、条例に基づき策定した「愛知県がん対策推進計画（第2期）」に目標の達成状況や取組状況等を適宜報告し、評価することにより、計画の進行管理を行うこととしています。

下記のとおり同部会を開催して県当局から平成28年度の目標達成状況、施策実施状況及び今後の取組の方向性案について報告し、ご意見をいただきました。

記

○ 開催日時

日時 平成29年1月30日（月）午後2時～午後4時

○ 構成員

所属・職名	氏名
名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授	明智 龍男
公益社団法人愛知県医師会 理事	浅井 清和
認定NPO法人あいち骨髄バンクを支援する会	朝倉 三恵
名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授	安藤 雄一
愛知県がんセンター中央病院 副院長兼看護部長	亀島 里美
愛知県がんセンター 総長	木下 平
東郷町健康部健康課 課長	小山 美紀
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 教授	高橋 義行
名古屋市健康増進課 主幹	田嶋 仁美
愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部長	田中 英夫
愛知県がんセンター中央病院 院長	丹羽 康正
NPO法人ミーネット 理事長	花井 美紀
藤田保健衛生大学医学部放射線腫瘍科 教授	林 真也
愛知県経営者協会 会員サービスグループ部長	東村 誠
瀬戸市健康福祉部健康課 課長補佐	樋口 照美
愛知県がんセンター中央病院 呼吸器内科部長	樋田 豊明
国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長	堀部 敬三
愛知県衣浦東部保健所 所長	吉田 宏

3 がん対策に関する目標の進捗状況及び各施策の実施状況

(愛知県がん対策推進計画(第2期)の進捗状況)

I 全体目標

(1) がんの年齢調整死亡率の減少

目標指標	前計画策定時 (平成 19 年)	計画策定時 (平成 24 年)	目 標 (平成 29 年)	平成 28 年度
年齢調整死亡率 (75歳未満)	人口 10 万対	人口 10 万対	人口 10 万対	人口 10 万対
	男性 119.5	男性 107.1	男性 95.6	男性 96.2
	女性 65.7	女性 61.3	女性 52.6	女性 58.9
	(平成 17 年)	(平成 22 年)	(平成 27 年)	(平成 26 年)

※人口 10 万対(1985 年日本モデル人口による調整)

(2) 自宅で治療を続けられるがん患者の割合の増加

目標指標	計画策定時 (平成 24 年)	目 標 (平成 29 年)	平成 28 年度
がん患者の自宅に おける死亡割合	6.5% (平成 23 年)	8.2% (平成 28 年)	9.2 % (平成 27 年)

Ⅱ 個別目標

(1) 喫煙対策の一層の推進

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
成人の喫煙率	男性 28.4%	男性 20.0%	男性 25.9%
	女性 6.5%	女性 5.0%	女性 6.3%
	(平成24年度)	(平成29年度)	(平成28年度)

※ 【指標把握方法】 ・生活習慣関連調査

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
・喫煙が健康に及ぼす影響等が んの予防のための正しい知識 の周知を図る。	・「世界禁煙デー」及び「禁 煙週間」における街頭 啓発等の実施			→
	・たばこ対策指導者養成 講習会の開催			→
	・保健所による健康教育 の実施			→
・喫煙者の禁煙を促進し受動喫煙 防止の取組を行う。	・受動喫煙防止対策研修 会の開催			→
	・受動喫煙防止対策実施 施設の認定			→
	・愛知県HPでの禁煙治 療保険適用医療機関等 の情報提供			→
	・禁煙支援のためのリー フレットの配布			→

(2) 食生活、運動習慣とがんの予防に関する知識の周知

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
1日野菜摂取量(※1)	273g (平成20~23年)	350g (平成29年)	265g (平成24~27年)
運動習慣者の割合(※2)	男性 33.1% 女性 28.1% (平成24年)	男性 40%以上 女性 35%以上 (平成29年)	男性 35.9% 女性 30.4% (平成28年度)

※1【指標把握方法】・「国民健康・栄養調査(愛知県分)」30単位地区以上となるよう4年分のデータを用いた。

※2【指標把握方法】・愛知県「生活習慣関連調査」

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
・食生活、飲酒、運動及びその他の生活習慣が健康に及ぼす影響に関する正しい知識の周知を図る。	・愛知県HPでの食生活改善に関する情報の掲載			→
	・食育推進協力店事業の実施			→
	・パンフレットによる啓発・広報			→
	・食生活改善推進員指導者養成研修会の開催			→
	・健康づくりリーダー養成委託事業			→
	・「健康の道」の愛知県HPでの紹介		→	
	・愛知健康ウォークの開催		・あいち健康マイレージ事業	
				・健康づくりチャレンジ推進事業の実施

(3) 小学生、中学生及び高校生に対する適切な生活習慣とがんの知識の周知

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
県保健所による小学生・中学生及び高校生に対する出前健康教育市町村数	9/50 市町村 (名古屋市、中核市除く) (平成23年度)	全ての市町村において、 出前健康教育などを実施 (平成28年度までに)	11/50 市町村 (名古屋市、中核市除く) (平成27年度)

※【指標把握方法】 ・県保健所健康教育実施報告

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> 小学生、中学生及び高校生が適切な生活習慣とがんの知識を学ぶ機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 県保健所による小学生、中学生及び高校生に対する出前健康教育を実施 			
			<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の協力を得て、中学生に対するがん教育出前講座を実施 	
			<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の協力を得て、県内市町村の保健体育教諭等に対するがん教育研修会を実施 	

(4) 細菌・ウイルス感染とがんの予防に関する知識の周知

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
<ul style="list-style-type: none"> 細菌・ウイルス感染とがんの予防に関する知識の周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県HPにおいてヒトパピローマウイルスと子宮頸がんの関係について掲載 愛知県HPにおいて肝炎ウイルス感染と肝がんの関係について掲載 肝炎ウイルス検査の受診勧奨の啓発資料の作成配布 				
<ul style="list-style-type: none"> 肝炎ウイルス陽性者の医療機関受診勧奨を行うとともに、医療機関未受診者を減らす。 	<ul style="list-style-type: none"> 県保健所による肝炎検査陽性者への基本事項説明と医療機関受診勧奨 県保健所における陽性者の初回の医療機関受診状況を、専門医療機関からの報告を付加すること等により未受診者を確実に把握し、未受診者へ受診勧奨できる体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 県保健所における陽性者の初回の医療機関受診状況を、専門医療機関からの報告を付加すること等により未受診者を確実に把握する。 			
				<ul style="list-style-type: none"> 医療機関での初回精密検査及び定期検査費用の助成による受診促進 	

2 がんの早期発見の推進

(1) がん検診の精度管理の向上

目標指標	計画策定時の現状値	目標	平成28年度
精度管理項目を含めた委託契約をしている市町村の割合	胃：25% 肺：23% 大腸：25% 乳：28% 子宮：26% (平成23年)	全ての市町村におけるがん検診の精度管理と事業評価の実施 (平成28年)	胃：30% 肺：28% 大腸28% 乳：28% 子宮：28% (平成27年)

【指標把握方法】・市町村照会による「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（がん検診事業の評価に関する委員会）で示された事業評価のためのチェックリストの適用状況

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> がん検診精度管理委員会を開催し、市町村におけるがん検診の精度管理の向上と事業評価の推進のため、市町村が検診機関と契約する際に検診精度管理に関する項目を含めるよう働きかける。 精密検査が必要と判断された受診者に対して、精密検査を受診するよう市町村と協働し適切に働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんの精度管理委員会を開催 「市町村におけるがん検診精度管理のための技術的指針」を策定 市町村に対する技術的助言の実施 			
		<ul style="list-style-type: none"> 市町村チェックリストによる自己点検結果の県HPへの掲載 		
<ul style="list-style-type: none"> がん検診の精度の向上のため、市町村、保健医療機関等の検診従事者の資質向上に関する講習会等を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診従事者講習会の実施（胃がん・大腸がん・乳がん・細胞診） 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村担当者向けの精度管理に係る研修会を開催 		
				<ul style="list-style-type: none"> 市町村担当者向けの精度管理に係る研修会を開催

(2) がん検診の受診率の向上

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
がん検診受診率	胃がん 14.7%	胃がん 40.0%	胃がん 14.6%
	肺がん 23.8%	肺がん 40.0%	肺がん 24.3%
	大腸がん 20.0%	大腸がん 40.0%	大腸がん 24.5%
	乳がん 31.0%	乳がん 50.0%	乳がん 30.6%
	子宮がん 38.4% (平成22年度)	子宮がん 50.0% (平成27年度)	子宮がん 40.3% (平成26年度)

※ 【指標把握方法】 ・健康増進事業報告（市町村）

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
・市町村、県、医療保険者、検診機関等が連携して、国の推進するがん検診の受診率向上を図る。	・がん検診の受診促進のためのリーフレットの作成・配布 ・10月の「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」を中心に、がん検診の普及啓発のための街頭啓発活動等を実施			→	
	・市町村、がん対策推進連携企業及び鉄道会社におけるがん検診啓発ポスターの掲示やレシート印字等を実施			→	
	・愛知県がん対策企業連携事業実施要綱の見直し	・がん対策推進連携企業の拡大			→
					→

3 がん治療の推進

(1) 放射線療法、化学療法及び手術療法等の更なる推進並びにチーム医療を担う専門的な医療従事者の育成

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
日本臨床腫瘍学会認定のがん薬物療法専門医を配置するがん診療連携拠点病院等	11/23 病院 (47.8%) (平成24年9月1日現在)	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成29年)	18/26 病院 (69.2%) (平成28年9月1日現在)
日本医療薬学会認定のがん専門薬剤師を配置するがん診療連携拠点病院等	15/23 病院 (65.2%) (平成24年9月1日現在)	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成29年)	19/26 病院 (73.1%) (平成28年9月1日現在)
日本看護協会が認定する専門看護師(がん看護)又は認定看護師(がん化学療法看護)を配置するがん診療連携拠点病院等	20/23 病院 (87.0%) (平成24年9月1日現在)	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成29年)	26/26 病院 (100%) (平成28年9月1日現在)

【指標把握方法】・がん診療連携拠点病院等現況報告書、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等の連携体制の強化を図りがん診療連携拠点病院の充実を推進する。 手術療法に加えて、放射線療法、化学療法などを効果的に組み合わせた集学的治療の更なる推進とともに、粒子線治療等の特殊な治療に関しては適応のあるがん患者が適切に紹介されるよう推進する。 病理診断、放射線治療、化学療法及び手術療法の専門医、その専門医と協力して専門的な治療を行う薬剤師・看護師・放射線技師、がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成を引き続き行うとともに、これら多職種が協働して機能するチーム医療を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県がん診療連携協議会、同看護部会、同クリニカルパス部会の開催 陽子線治療に関する講演会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな国の拠点病院整備指針に基づいて国へ指定候補病院を推薦(推薦病院選定のための審査において目標指標の充足状況を評価) 県指定の拠点病院の位置づけを検討し、新基準で指定(審査において目標指標の充足状況を確認) 	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携協議会の各部会構成メンバーについて、各拠点病院の得意分野を活かして再編し、連携体制を強化 	
				<ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療に関する講演会の開催
<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等と協力して、所属する医療従事者に関する情報開示を推進する。 			<ul style="list-style-type: none"> 国指定、県指定拠点病院の専門的な医療従事者の配置状況を県HPに掲載 	

(2) 外来における放射線療法及び化学療法の推進

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
がん診療連携拠点病院等以外で、外来化学療法加算1を算定できる医療機関を複数設置する医療圏	8/12 医療圏 (66.7%) (平成24年9月1日現在)	全ての医療圏 (100%) (平成29年)	7/12 医療圏 (58.3%) (平成28年9月1日現在)
外来化学療法室に日本看護協会が認定する専門看護師(がん看護)又は認定看護師(がん化学療法看護)を配置するがん診療連携拠点病院等	21/23 病院 (91.3%) (平成24年9月1日現在)	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成29年)	26/26 病院 (100.0%) (平成28年9月1日現在)

【指標把握方法】・施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等における更なる外来化学療法及び化学療法の促進とともに、地域の連携する医療機関での外来化学療法及び化学療法も推進する。 		<ul style="list-style-type: none"> 新たな国の拠点病院整備指針に基づいて国へ指定候補病院を推薦(推薦病院選定のための審査において目標指標の充足状況を評価)(再掲) 県指定の拠点病院の位置づけを検討し、新基準で指定(審査において目標指標の充足状況を確認)(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> 国指定拠点病院の化学療法に係る診療実績を県HPにて公開 	<ul style="list-style-type: none"> 国指定・県指定拠点病院の化学療法に係る診療実績を県HPにて公開
<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等と地域の連携する医療機関との連携及び協力を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県がん診療連携協議会クリニカルパス部会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 地域がん診療連携拠点病院推薦病院選定のための審査においてクリティカルパス算定件数を評価 		<ul style="list-style-type: none"> 愛知県がん診療連携協議会クリニカルパス部会の開催

(3) がん患者リハビリテーションの推進

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
がん患者リハビリテーション料を算定できる医療機関を隣接する医療圏でカバーする場合も含めて1つ以上設置する医療圏	6/12 医療圏 (50%) (13 医療機関) (平成24年9月1日現在)	隣接する医療圏でカバーする場合も含め、全ての医療圏に1以上設置 (100%) (平成29年)	12/12 医療圏 (100%) (57 医療機関) (平成28年9月1日現在)

【指標把握方法】 ・がん診療連携拠点病院等現況報告書、施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・住み慣れた地域で、がん患者リハビリテーションを行える医療体制の充実を目指す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・新たな国の拠点病院整備指針に基づいて国へ指定候補病院を推薦(推薦病院選定のための審査において目標指標の充足状況を評価)(再掲) ・県指定の拠点病院の位置づけを検討し、新基準で指定(審査において目標指標の充足状況を確認)(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定、県指定拠点病院の算定状況を県HPにて公開 	→

4 緩和ケアの推進

(1) 緩和ケア研修会修了者の増加

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・がん診療連携拠点病院等と連携し、緩和ケア研修会修了者を増加させる。</p>	<p>・がん診療連携拠点病院等が行う緩和ケア研修会の実施を支援</p>		<p>・緩和ケアに係る指導者研修会修了者への調査を実施し、研修会協力者のメーリングリストを作成し、拠点病院の研修企画責任者間で活用</p>	→
	<p>・愛知県がん診療協議会緩和ケア部会の開催</p>			→
<p>・医師以外の医療従事者が、緩和ケアに関する知識を習得できる機会について検討する。</p>	<p>・愛知県緩和ケアフォローアップ研修会の開催</p>		→	

(2) 緩和ケアチーム設置の推進

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
緩和ケア診療加算を算定できる緩和ケアチームを設置するがん診療連携拠点病院等	8/23 病院 (34.8%) (平成24年9月1日現在)	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成29年)	14/26 病院 (53.8%) (平成28年9月1日現在)
日本看護協会が認定する専門看護師（がん看護）、認定看護師（緩和ケア）又は（がん性疼痛看護）を配置するがん診療連携拠点病院等	16/23 病院 (69.6%) (平成24年9月1日現在)	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成29年)	26/26 病院 (100%) (平成28年9月1日現在)

【指標把握方法】 ・がん診療連携拠点病院等現況報告書、施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・県内どこに住んでいても一定の緩和ケアを受けられるように、がん診療連携拠点病院等において緩和ケア診療加算を算定できる緩和ケアチームの設置及び緩和ケアの専門的な知識を有する看護師の配置を目指す。</p>	<p>・がん診療連携拠点病院等が行う緩和ケア研修会の実施を支援（再掲）</p>			→
	<p>・がん診療連携協議会緩和ケア部会の開催（再掲）</p>	<p>・新たな国の拠点病院整備指針に基づいて国へ指定候補病院を推薦（推薦病院選定のための審査において目標指標の充足状況を評価）（再掲）</p> <p>・県指定の拠点病院の位置づけを検討し、新基準で指定（審査において目標指標の充足状況を確認）（再掲）</p>	<p>・国指定、県指定拠点病院の算定状況を県HPにて公開（再掲）</p>	→

(3) 緩和ケア病床の活用の推進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・緩和ケアに関する様々な情報を発信することにより、緩和ケア病床の活用を推進する。</p>	<p>・「患者必携 地域の療養情報」をがん診療連携拠点病院等に配布</p>			
	<p>・「患者必携 地域の療養情報 第二版」の発行</p>		<p>・「患者必携 地域の療養情報 第三版」の発行</p>	

(4) 外来緩和ケアの推進

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
外来緩和ケア管理料を算定するがん診療連携拠点病院等	9/23 病院 (39.1%) (平成24年9月1日現在)	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成29年)	15/26 病院 (57.7%) (平成28年9月1日現在)

【指標把握方法】・施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・県内どこに住んでいても一定の外来緩和ケアを受けられるように、がん診療連携拠点病院等における外来緩和ケア管理料を算定できるように推進する。</p>	<p>・がん診療連携拠点病院等が行う緩和ケア研修会の実施を支援(再掲)</p> <p>・「患者必携 地域の療養情報」をがん診療連携拠点病院等に配布(再掲)</p> <p>・「患者必携 地域の療養情報 第二版」の発行(再掲)</p>	<p>・新たな国の拠点病院整備指針に基づいて国へ指定候補病院を推薦(推薦病院選定のための審査において目標指標の充足状況を評価)(再掲)</p> <p>・県指定の拠点病院の位置づけを検討し、新基準で指定(審査において目標指標の充足状況を確認)(再掲)</p>	<p>・「患者必携 地域の療養情報 第三版」の発行(再掲)</p> <p>・国指定、県指定拠点病院の算定状況を県HPにて公開(再掲)</p>	→
				→
				→
<p>・緩和ケア研修会の修了者を増加させることにより、地域の連携する医療機関での外来緩和ケアを推進する。</p>	<p>・がん診療連携拠点病院等が行う緩和ケア研修会の実施を支援(再掲)</p> <p>・愛知県のHPに各病院の緩和ケア研修会修了者名簿を掲載</p>			→
<p>・同一の医療圏のみならず、医療圏の境を越える地域連携診療計画を共有した病病連携又は病診連携を推進する。</p>	<p>・愛知県がん診療連携協議会緩和ケア部会の開催(再掲)</p>			→

(5) 在宅緩和ケアの推進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時等病状の変化にも対応できる在宅療養支援を行える医療機関の増加を促進する。 ・ 緩和ケア研修会の修了者を増加させることにより、地域の連携する医療機関での在宅緩和ケアを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん診療連携拠点病院等が行う緩和ケア研修会の実施を支援(再掲) ・ 愛知県緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (再掲) 		<p style="text-align: right;">→</p>	<p style="text-align: right;">→</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅緩和ケアにおいても、外来緩和ケアと同様に、地域連携診療計画を共有した病病連携又は病診連携を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県がん診療連携協議会緩和ケア部会の開催 (再掲) 		<p style="text-align: right;">→</p>	<p style="text-align: right;">→</p>

5 在宅療養の推進

(1) 在宅療養支援体制の整備

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等の相談支援センターにおける在宅療養に関する各種福祉・介護制度の紹介を推進し、がん患者とその家族が求めている情報の充実を目指す。 市町村、医療関係団体等と協働して、地域療養・医療、訪問看護体制の連携の取組を支援し、住み慣れた自宅で療養できる体制の整備を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院機能強化事業による支援 			
	<ul style="list-style-type: none"> 「患者必携 地域の療養情報」をがん診療連携拠点病院等に配布（再掲） 			
	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県がん診療連携協議会相談支援部会の開催 			
	<ul style="list-style-type: none"> 「患者必携 地域の療養情報 第二版」の発行（再掲） 		<ul style="list-style-type: none"> 「患者必携 地域の療養情報 第三版」の発行（再掲） 	
	<ul style="list-style-type: none"> 「愛知医療情報ネット」の整備 			

(2) 在宅緩和ケアの推進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> 緊急時等病状の変化にも対応できる在宅療養支援を行える医療機関の増加を促進する。 緩和ケア研修会の修了者を増加させることにより、地域の連携する医療機関での在宅緩和ケアを推進する。 在宅緩和ケアにおいても、外来緩和ケアと同様に、地域連携診療計画を共有した病病連携又は病診連携を推進する。 市町村、医療関係団体等と協働して、地域療養・医療、訪問看護体制の連携の取組を支援し、住み慣れた自宅でも緩和ケアを受けられる体制の整備を推進する。 がん性疼痛が悪化するなど、病状悪化時のがん診療連携拠点病院等や緩和ケア病床を有する医療機関へ入院できる体制の整備を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県緩和ケアフォローアップ研修会の開催（再掲） 			
	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等が行う緩和ケア研修会の実施を支援（再掲） 			
	<ul style="list-style-type: none"> 「愛知医療情報ネット」の整備（再掲） 			
	<ul style="list-style-type: none"> 「患者必携 地域の療養情報」をがん診療連携拠点病院等に配布（再掲） 			
	<ul style="list-style-type: none"> 「患者必携 地域の療養情報 第二版」の発行（再掲） 			<ul style="list-style-type: none"> 「患者必携 地域の療養情報 第三版」の発行（再掲）

6 女性特有のがんに係るがん対策

(1) 細菌・ウイルス感染とがんの予防に関する知識の周知

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
・HPV感染・子宮頸がん予防ワクチンと子宮頸がんに関する情報を適切に周知する。	・HPV感染と子宮頸がんに関する情報提供については、女性特有のがん対策専門会議を開催し、周知方法等について協議	・女性特有のがん対策専門会議での提言を踏まえ、女性が多く所属する団体等（大学、PTA）と連携した啓発活動を実施		
・子宮頸がん予防ワクチンの定期接種を円滑に実施できるよう情報提供等の支援を行う。	・予防ワクチンについては、国が接種の積極的な呼びかけを中止したため、国の動向を注視			

(2) 女性ががんの検診や治療を受けやすい環境の整備

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
・事業者等と協働して従業員及び扶養家族に、生活習慣・HPV感染と女性特有のがんに関する情報を提供する方法を検討し、適切な乳がんや子宮頸がんなどの予防及びがん検診に関する知識を周知する。	・女性特有のがん対策専門会議を開催し、周知方法等について協議 ・女性のがん検診推進フォーラム（子宮頸がん）、ピンクリボンフォーラムあいち（乳がん）を開催し、がん検診等に関する知識を周知	・女性特有のがん対策専門会議での提言を踏まえ、女性が多く所属する団体等（大学、PTA）と連携した啓発活動を実施（再掲）		
・市町村、医療機関等と協働して、女性が、女性特有の身体の悩みで医療機関を受診しやすい、乳がんや子宮頸がんなどを早期発見・治療できる環境づくりに取り組む。	・女性特有のがん対策専門会議を開催し、取組の方向性について協議 ・女性が受診しやすい環境づくりに関する調査を実施し、検診機関・医療機関における取組の現状を調査、調査結果の情報提供	・調査結果を踏まえ、医療機関等における女性が受診しやすい環境づくりに関する取組について、県民に分かりやすく情報提供（ホームページの更新、啓発資材等の作成等） ・がん検診の意義や内容に関する受診者への説明資材を作成し、検診機関・医療機関等に情報提供		


※ 目標に関しては、2－(2)と同じ

7 小児がん対策

(1) 小児がん拠点病院を中核とした小児がん治療の連携体制の整備

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小児がん拠点病院を中核とした医療体制の整備を推進し、本県の小児がん治療の連携体制の整備を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・三重大学医学部附属病院へ名古屋大学関係者と「小児がん拠点病院東海北陸ブロック連携打ち合わせ」に同行 ・名古屋大学医学部附属病院小児がん拠点病院担当者と連携について打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県のHPに小児がん拠点病院に関するページを掲載 		<ul style="list-style-type: none"> ・県内の病院で小児がん患者を一定以上受け入れている施設の診療体制や診療実績等を調査し、とりまとめ結果を関係機関へ提供

(2) 小児がん患者とその家族への支援体制の整備

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん入院治療の開始に伴い患者本人とその家族が抱える問題についての把握に取り組む。 ・小児がん拠点病院と連携して、小児がん患者とその家族や遺族に対する相談支援等の充実及び小児がん入院治療中に必要と考えられる託児保育、宿泊施設及び子育て支援等のサービスの紹介などの相談支援に取り組む。 ・小児がん拠点病院等と連携して、入院及び外来で治療を行っている小児がん患者の教育の改善について検討を行う。 ・小児がん拠点病院及び復学等様々な情報の発信に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん復学支援講演会を名古屋大学医学部附属病院と共催 ・名古屋大学医学部附属病院から高校生の院内学級について相談を受け、県教育委員会に伝え、窓口を紹介 		<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん復学支援講演会を開催 ・主任養護教諭連絡協議会と連携して小児がん復学支援研修会を開催 ・名古屋大学医学部附属病院と今後の連携について協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気療養児の就学支援に関する研修会を開催 ・愛知県のHPに小児がんに関するページを掲載

8 働く世代へのがん対策

(1) 職域におけるたばこを含めた生活習慣とがんに関する情報の充実

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・事業者等と協働して、働く世代へのたばこを含めた生活習慣とがんに関する情報を、働く世代の方々へ提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各圏域地域・職域連携推進協議会の開催 			→
	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代のがん対策シンポジウムの開催 			→
	<ul style="list-style-type: none"> がん患者就労継続支援・がん検診受診促進検討会議の開催 	→		
	<ul style="list-style-type: none"> 企業に対するがん患者の治療と就労の両立支援の現状等に関するアンケート調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 企業に対するアンケート調査の公表 		

(2) 職域におけるがん検診と特定健康診査等との同時実施の推進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・市町村、医療保険者等と協働して、市町村が主体となるがん検診と職域の特定健康診査等との同時実施を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市町村がん検診実施機関及び特定健康診査実施機関の情報を市町村及び協会けんぽ等と情報共有 			→
	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県がん対策企業連携事業実施要綱の見直し(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> がん対策推進連携企業を拡大(再掲) 		→

(3) 職域及び医療機関におけるがん治療に関する情報の共有

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・国の施策動向等を踏まえながら、がん患者が治療と就労を両立できる環境づくりを推進する。</p> <p>・産業医、産業保健師及び人事労務者の職域とがん診療連携拠点病院等の医療機関によるがん患者の治療状況に関する情報の共有を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代のがん対策シンポジウムの開催（再掲） がん患者就労継続支援・がん検診受診促進検討会議の開催（再掲） 企業に対するがん患者の治療と就労の両立支援の現状等に関するアンケート調査の実施（再掲） がん診療連携拠点病院に対するがん患者の治療と就労の両立支援の現状等に関するアンケート調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 企業に対するアンケート調査の公表（再掲） がん診療連携拠点病院に対するアンケート調査の公表 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医からがん患者に渡すカードの作成・配布 本人、事業者及び主治医が情報提供で連携するための文書作成例の作成と周知 がん治療と仕事の両立に向けたチェックリストの作成と周知 	<ul style="list-style-type: none"> 県民向けリーフレットの作成・配布
	<ul style="list-style-type: none"> 企業等への啓発資料の配布 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県医師会主催の日本医師会認定産業医研修会参加者へ冊子の配布 		<ul style="list-style-type: none"> がん患者の就労継続を支援するための企業向けパンフレットの作成・配布

9 がんに関する相談支援及び情報提供の推進

(1) 相談支援センターの充実

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・愛知県がん診療連携協議会相談支援部会と連携し、がん診療連携拠点病院等の相談支援センターにおける相談支援体制の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国立がん研究センター主催の東海・北陸ブロック地域相談支援フォーラムの協力 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院機能強化事業による支援（再掲） 			→
	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県がんセンター中央病院での社労士による就労相談 			→
	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県がん診療連携協議会相談支援部会の開催（再掲） 			→
	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院等相談支援センター会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院等相談支援センター相談員研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな国の拠点病院整備指針に基づいて国へ指定候補病院を推薦（推薦病院選定のための審査において相談支援センターの体制や実績を評価） 	→
		<ul style="list-style-type: none"> ・県指定の拠点病院の位置づけを検討し、新基準で指定（審査において相談支援センターの体制や実績を確認） 		

(2) 医療機関に関する診療情報の提供

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
5大がんの5年相対生存率を公表するがん診療連携拠点病院等	3(5)/23 病院 ()内は一部公開 (平成24年9月1日現在)	全ての がん診療連携拠点病院等 (100%) (平成29年)	5(2)/26 病院 ()内は一部公開 (平成28年9月1日現在)

【指標把握方法】 ・愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・がん診療連携拠点病院等におけるがん医療に関する患者が必要としている情報を得られるよう県のホームページ等で適切な情報を提供していく。</p>	<p>・「あいち医療情報ネット」の整備（再掲）</p> <p>・愛知県のHPにがん診療連携拠点病院等の情報を掲載</p>			
	<p>・がん診療連携拠点病院機能強化事業による支援（再掲）</p>	<p>・地域がん診療連携拠点病院推薦病院選定のための審査において5大がんの5年生存率の公表に関する精度管理に係る項目を充足する病院を評価</p> <p>・愛知県がん診療拠点病院指定のための審査において、体制や5大がんの5年生存率の公表に関する精度管理に係る項目の充足状況を確認</p>	<p>・国指定、県指定の拠点病院の5年生存率の公開状況を県のHPに掲載</p>	
<p>・全てのがん診療連携拠点病院等の実情に応じて、5大がんの5年相対生存率を公表するよう推進する。</p>				

(3) 市町村及び関係団体等との県民運動の実施

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
<p>・県民、市町村及び医療及び労働関係団体等が主体となる幅広い連携・協力関係を構築していくことで、県民運動の実施を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月のがん検診強化月間に検診受診促進や予防に関する啓発を集中的に実施するとともに市町村や関係機関と連携して啓発活動を実施 ・愛知県のHPにがん対策に関する県の取組やがん対策連携企業の取組を掲載 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・がん対策推進連携企業と共催で「ピンクリボン街頭啓発キャンペーン」を実施 		

(4) ピア・サポートの推進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
<p>・ピア・サポート等がん患者及びその家族に対する相談支援を推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者・家族に対する相談支援事業の実施 ・愛知県がん患者支援団体ホームページ等掲載要領に基づきがん患者支援団体の情報を提供 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・「患者必携地域の療養情報」をがん診療連携拠点病院等に配布（再掲） ・「患者必携 地域の療養情報 第二版」の発行（再掲） 			
				<ul style="list-style-type: none"> ・「患者必携 地域の療養情報 第三版」の発行（再掲） 	

10 がんの教育・普及啓発の推進

(1) 子どもに対する健康と命の大切さ、健康管理、がんに対する正しい理解の促進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・小学生、中学生及び高校生が適切な生活習慣とがんの知識を学び機会を増やす。</p>	<p>・県保健所による小学生、中学生及び高校生に対する出前健康教育を実施（再掲）</p>			
			<p>・教育委員会の協力を得て、中学生に対するがん教育出前講座を実施（再掲）</p> <p>・教育委員会の協力を得て、県内市町村の保健体育教諭に対するがん教育研修会を実施（再掲）</p>	

※ 目標に関しては、1－(3)と同じ

(2) 大人に対するがんの予防・早期発見のための行動変容、自身のがん罹患も含めたがんに対する正しい理解の促進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・市町村、医療保険者及び事業者等と協働した働く世代へのたばこを含めた生活習慣とがんに関する情報提供を行う。</p>	<p>・働く世代のがん対策シンポジウムの開催（再掲）</p>			
	<p>・愛知県HPでの生活習慣及びたばこがんにに関する情報の提供</p>			
	<p>・「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」における街頭啓発等の実施（再掲）</p>			
<p>・たばこ対策指導者養成講習会の開催（再掲）</p>				
<p>・愛知県がん対策企業連携事業実施要綱の見直し（再掲）</p>		<p>・がん対策連携企業を拡大（再掲）</p>		

(3) がん患者に対する自身のがんに関する正しい理解の促進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> ・患者が必要としている情報を得られるよう、また、適切にセカンドオピニオンを行えるよう、県のホームページ等でがんに関する適切な情報を提供していく。 ・がんと診断された時に、国立がん研究センター等が作成したパンフレット等の患者とその家族に有用と考えられる情報を提供するための方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「患者必携 地域の療養情報」をがん診療連携拠点病院等に配布（再掲） 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「患者必携地域の療養情報 第二版」の発行（再掲） 		<ul style="list-style-type: none"> ・「患者必携 地域の療養情報 第三版」の発行（再掲） 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県のHPにがんの早期発見や治療に関する情報を掲載 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・国立がん研究センター作成のパンフレットを街頭啓発等で配布 			

1.1 がんに関する研究の推進

(1) がん登録の推進

目標指標	計画策定時の現状値	目標	平成28年度
がん登録の精度指標 DCN の割合	22.5% (平成20年度)	15.0%以下 (平成25年度)	10.1% (平成25年度)

【指標把握方法】 ・「愛知県のがん登録

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>・がん登録の結果を適切に情報発信するとともに、必要性の周知を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域がん登録の実施 ・がん登録情報の集約及び県保健所・医師会等を通じて県内医療機関へ届出を勧奨 ・2009年及び2010年診断分のがん罹患等の状況を冊子及び県HPにより公表 ・5年生存率の算出（2001～2003年罹患） 	<ul style="list-style-type: none"> ・2011年診断分のがん罹患等の状況を冊子及び県HPにより公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年診断分のがん罹患等の状況を冊子及び県HPにより公表 ・5年生存率の算出（2006～2008年罹患） ・全国がん登録届出システムの整備、医療機関説明会の開催 ・登録情報の利用等に係る審議会の設置・開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年診断分のがん罹患等の状況を冊子及び県HPにより公表 ・全国がん登録の実施 ・登録情報の利用等に係る審議会の開催
	<p>・県がんセンター研究所におけるがん登録を踏まえた研究を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん対策の企画・評価に必要な地域がん登録の資料を活用した、がんの流行と転帰の分析研究等の実施 		

院内がん登録

目標指標	計画策定時	目標	平成28年度
院内がん登録率95%以上のがん診療連携拠点病院等	11/23 病院 (47.8%) (平成23年)	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成28年)	25/26 病院 (96.2%) (平成27年)

【指標把握方法】 ・「愛知県がん対策推進計画（第2期）の目標に関するがん診療連携拠点病院等の現状調査」

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> 国立がん研究センターがん対策情報センターで行われるがん診療連携拠点病院等のがん登録担当者に対する研修日程の通知や調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院機能強化事業による支援（再掲） 愛知県がん診療連携協議会院内がん登録部会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 地域がん診療連携拠点病院推薦病院選定のための審査において院内がん登録実務者に係る項目を充足する病院を評価 	<ul style="list-style-type: none"> 院内がん登録部会においてがん登録実務者研修会を開催 国指定、県指定の拠点病院の登録率の達成状況を県HPに掲載 	

(2) 高齢者へのがん治療の在り方の検討

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者へのがん治療の在り方に関しては、国や各種学会による手術療法、放射線療法及び化学療法等による集学的治療に関する研究や推進の結果を踏まえ検討していく。 				<ul style="list-style-type: none"> 高齢者へのがん治療の在り方に関する国や学会の動向等を国指定、県指定病院へ情報提供

(3) 生殖機能を考慮した治療の推進

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> 生殖機能を考慮した治療に関しては、国や各種学会による技術的及び論理的な検討結果を待ち、成果を十分活用できるように検討していく。 				<ul style="list-style-type: none"> 生殖機能を考慮した治療に関する国の動向や国指定病院の取組状況を国指定・県指定病院へ情報提供

(4) その他がんに関する研究

取組の方向性	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> ・県がんセンター研究所における研究結果を適切に情報発信する。 ・県がんセンター研究所、医療機関、関係大学、産業界等が連携した研究の成果を、がんの予防や早期発見・早期治療に活用できるよう取り組む。 ・県がんセンター研究所、関係大学等が連携して取り組む研究を通じて、がんの研究に専門的な知識を有する人材の育成及び確保を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県がんセンターのHPに事業概要等により研究所の研究成果等を掲載 ・ 遺伝的要因や環境要因を考慮した乳がんの個別化予防法の開発 悪性リンパ腫や悪性上皮腫の早期診断、治療のためのゲノム解析 大腸がんの治療に応用できる動物モデルを用いた早期病変や転移に関する分子機構の解明と治療への応用 新たな治療戦略としての新規作用機序を持つ化合物とがん細胞側の標的たんぱく質との相互作用の解明 新たながん免疫療法の基礎研究としての細胞障害性Tリンパ球が認識するがん抗原の解明 がん患者の末期に生じる体重減少（悪液質）のメカニズム解明など ・ がんに関する研修や情報収集のために研究員を諸外国へ派遣 ・ がん研究業務を通じて悪性新生物に関する知識・技術を習得するリサーチレジデントを養成 ・ 大学等の他機関所属の者が研究所において研究に関する研修を受ける任意研修を実施 ・ 連携大学院制度を実施 			<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>